

# Cisco Unified Communications Manager CTL プロバイダー ヒープ オーバーフロー

**Critical** アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20080116-cucmctl](#)  
初公開日 : 2008-01-16 16:00 [2008-0027](#)  
バージョン 1.0 : Final  
CVSSスコア : [10.0](#)  
回避策 : [Yes](#)  
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) は非認証ユーザ遠隔がサービス拒否 ( DoS ) 状態を引き起こすか、または任意のコードを実行するようにする可能性がある Certificate trust list ( CTL ) プロバイダ サービスで、以前 CallManager、ヒープ オーバーフロー脆弱性が含まれています。この脆弱性に対しては回避策があります。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

よくある脆弱性および公開 ( CVE ) 識別子 CVE-2008-0027 はこの脆弱性に割り当てられました。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080116-cucmctl> で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

脆弱性を含む製品は次のとおりです。

- Cisco Unified CallManager 4.0
- 4.1(3)SR5c 以前の Cisco Unified CallManager 4.1 バージョン
- 4.2(3)SR3 以前の Cisco Unified Communications Manager 4.2 バージョン

- 4.3(1)SR1 よりも前の Cisco Unified Communications Manager 4.3 バージョン

CUCM 4.x システムで動作するソフトウェアのバージョンは Help > About Cisco Unified CallManager へのナビゲートし、CUCM 管理インターフェイスによって Details ボタンを選択することによって判別することができます。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

CUCM バージョン 3.3、5.0、5.1、6.0、6.1 および Cisco Unified CallManager Express はこの脆弱性から影響を受けません。他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.0	2008-January-16	初回公開リリース
--------------	-----------------	----------

### 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。